

**土砂災害の種類**  
土砂災害には、1分崩れ、「土石流」に「地すべり」の3種類があります。基本的被害を引き起こす土砂災害に対処するには、それぞれの特徴と発生の兆候を知ることが重要です。

**● かけ崩れ**  
山の斜面が雨水や地震などでゆるみ、突然崩れ落ちて、家屋や道路を押しつぶす災害。国内で最も発生件数が多い。



土砂災害には前兆現象がよく見られます。大雨の時、以下のような現象を発生したら、役場に連絡をしてみややかに避難しましょう。土石流の速度は時速30～40kmにも及びます。発生してからでは間に合わないので、事前に十分注意すること！

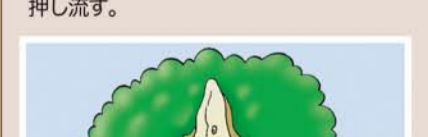
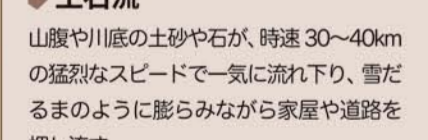
**● 前兆現象**  
斜面(がけ)から小石がころりと落ちてくる

斜面(がけ)から急に水がわき出したり、わき水が濁る

斜面(がけ)に割れ目ができる

**● 土石流**  
山腹や川底の土砂や石が、時速30～40kmの猛烈なスピードで一気に流れ下り、雪だるまのように形をみながら家屋や道路を押し流す。

**● 地すべり**  
斜面の一部あるいは全体がゆっくり下方にすべり落ちる現象。斜面の上の家屋や樹木の傾斜、田畑の境界線が歪む。



土砂災害には前兆現象がよく見られます。大雨の時、以下のような現象を発生したら、役場に連絡をしてみややかに避難しましょう。土石流の速度は時速30～40kmにも及びます。発生してからでは間に合わないで、事前に十分注意すること！

**● 前兆現象**  
川が濁り、流木が一気に流れる

山腹がはがれる

雨は降り続けているが、流れる水が濁ってくる

地面にひび割れができる

斜面の所々から急に水がわき出す

井戸水が濁ったり、池や沼の水が急に濁ったり臭いがする

**土砂災害警戒区域**

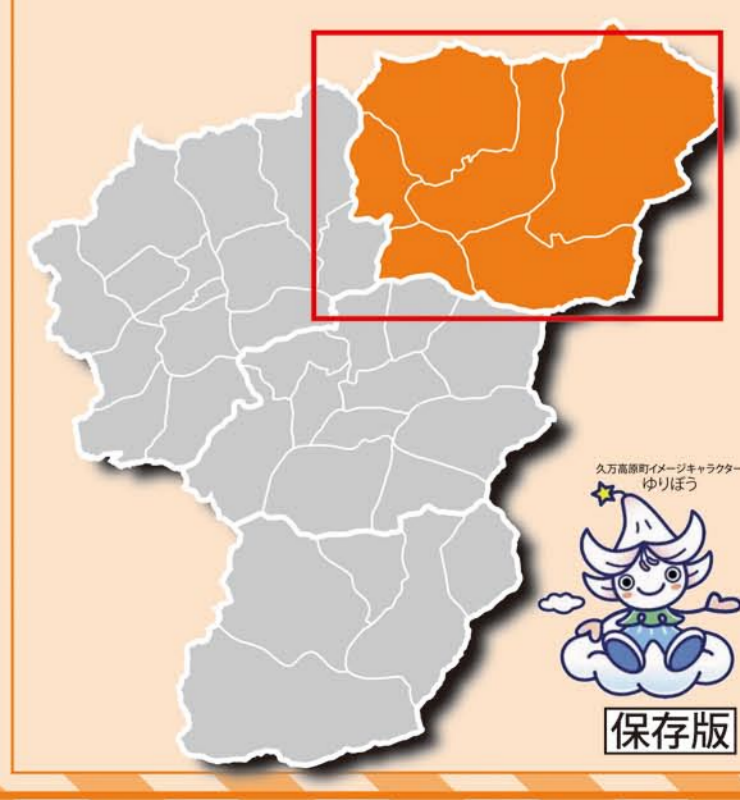
土砂災害が発生した場合、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）」により知事が指定した区域です。（指定を予定された区域を含む）

**土砂災害警戒区域**  
土砂災害が想定される区域

**土砂災害特別警戒区域**  
土砂災害警戒区域のうち、建築物に被害が生じ、住民に著しい被害が発生する恐れのある区域

- 凡例**
- 避難所兼緊急避難所
  - 緊急避難所
  - 福祉避難所
  - 町役場・支所・出張所
  - 消防署・支所・出張所
  - 警察署・交番・駐在所
  - 緊急医療機関
  - 防災無線（非常通話機能）
  - 備蓄倉庫
  - ヘリコプター
  - ため池
  - 落石等危険箇所
  - 橋梁耐震対策箇所
  - 水防区域
  - 事前通行規制区間
  - 緊急輸送道路
  - 県道
  - 消防方面界線
  - 消防分団界線
- 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等**
- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
  - 土砂災害警戒区域（土石流）
  - 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）
  - 土砂災害警戒区域（急傾斜地）
  - 土砂災害警戒区域（地すべり）

令和2年度  
**久万高原町**  
**防災** 面河地区  
**マップ**  
面河地区全域



資料提供：GDPSPACEを参照しています。Copyright©NTT 著作権保留 All Rights Reserved. 電子国土基本法（GIS情報）及び数値標高（国土基本情報） 電子国土基本法（地名情報）を参照した。（※データ等は1/25,000レベルの精度で作成されており、あくまで目安とするもの位置を確認するものであり、現行のものとは異なる場合があります。